



▲まちの良いところや悪いところなどをグループごとに発表。

## 登別を自慢できるまちに！

～登別市まちづくりアクションプラン  
『子どもワークショップ』～

11月17日(土)、登別公民館で、登別市まちづくりアクションプラン『子どもワークショップ』が開かれ、市内の小・中学生59人が参加しました。

この会議は、現在、市が策定を進めている都市計画と緑・景観に関する計画『まちづくりアクションプラン』に子どもたちの斬新なアイデアを生かすとともに、計画づくりへの参加を通して、まちづくりの大切さを学んでもらおうと開かれたものです。

子どもたちは、7グループに分かれ、事前に撮影した市内のきれいな風景や悪いところの写真を地図に落としした後、『登別を自慢できるまちにしよう』をテーマに活発な意見交換を行い、良いところや悪いところ、その改善案などを発表しました。

海や川、山など登別の豊かな自然の素晴らしさが数多く取り上げられる一方で、川沿いや草やぶのごみや不法投棄の実態なども報告され、市民一人ひとりの協力のもと、ポイ捨て禁止運動や学生も参加したクリーン作戦を実施しようといった景観の改善案が子どもたちから発表されました。



▲活発に意見交換する子どもたち

## うるおいと活力のある登別を

～第26回まちづくり市民のつどい～

11月25日(日)、市民会館で登別市民憲章推進協議会主催による『第26回まちづくり市民のつどい』が開催されました。この催しは、市民憲章の精神を生かしながら、うるおいと活力のある登別市を築こうと、毎年開かれているものです。

この日は、活発な町内会活動を展開している桜木町のさくら団地自治会の実践発表に続き、登別市婦人団体連絡協議会が活動内容を紹介。また、今年デンマークを訪問した登別市中学生海外派遣団の生徒代表が体験報告を行いました。

最後に、北海道医療大学看護福祉学部の長谷川聡助教授による『新たな出会いを生きる～中高年の健康生きがいづくり～』と題した講演が行われ、参加した約150人の市民は熱心に耳を傾けていました。



## ガーデニングコンテストを開きましょう

～市長室  
フリータイム～

11月20日(火)、市長室フリータイムが行われ、ガーデニングの愛好サークル『花くらぶ』の役員4人が市長室を訪れました。

この市長室フリータイムは、市長室を開放して、市民のみなさんと市長がまちづくりなどについて、自由に話し合える機会を広げるため、平成元年から行われているものです。

この日は、花くらぶの会員が「登別の気候・風土に合った花づくりで、花と緑がいっぱいのまちを目指しています。最近、わたしたちだけでなく、多くの方がガーデニングをされているので、登別でもぜひガーデニングコンテストを」と協力を要請。市長は「いろいろな団体にも呼びかけて実現させましょう」と話していました。



## 汗だくでそば打ち体験！

～『年越しは手打ちそばで』教室～

12月1日(土)、2日(日)の両日、文化伝承館で市教育委員会主催の『年越しは手打ちそばで』教室が行われ、両日で45名が参加しました。

この教室は、日本の伝統食についての認識を高めようと、毎年この時期に開催しているもので、この日参加者は、郷土資料館ボランティア・SLG会員の指導で、粉に水を加え練って生地を作り、めん棒で平均に



のばして、たたんで切るという工程を悪戦苦闘しながらめんを作り上げ、その出来栄には大きな歓声があがっていました。